

令和5年度  
第1回北杜市環境審議会

会 議 録

北杜市市民環境部 環境課

## 令和5年度 第1回北杜市環境審議会 会議録

1 会議名 第1回北杜市環境審議会

2 開催日時 令和5年7月12日（水）午前10時00分～午後0時00分

3 開催場所 北杜市役所 北館 大会議室

4 出席者（敬称略）

出席委員

丸茂 正、三井 茂、八巻 利博、輿水 繁美、浅川 昌訓、草野 香壽恵、浅川 文雄、  
清水 重仁、進藤 眞夫、安藤 義樹、宮川 祺三哉、北原 まつ子、長坂 正、小澤  
久、三井 喜巳、

欠席委員

水上 英子、八巻 美弥子、功刀 美津子、富樫 和孝

事務局

環境課長 中山 由郷

環境保全担当 谷戸 克仁、小林 静香

ゼロカーボン推進担当 谷畑 祐介

会議録署名委員

丸茂 正、八巻 利博

5 議事

(1) 環境保全担当の状況について

(2) ゼロカーボン推進担当の状況について

(3) その他

6 公開・非公開の別

公開

7 傍聴人の数

0名

## 会 議

1 開会（事務局 中山課長）

2 委嘱状交付

3 市長あいさつ（代理 副市長）

4 出席者紹介

5 役員選出（会長 1 名、副会長 1 名）

会長に草野香壽恵委員、副会長に三井茂委員が選出された。

6 会長あいさつ（草野会長）

7 議事

（議長） それでは議事に入る。議題（1）の環境保全担当の状況について、事務局より説明を求める。

（事務局） 環境保全担当の状況について説明。

（議長） この件について質疑等があれば挙手をお願いする。

（委員） ごみに関するデータで、もう少し詳しいものをいただきたい。

（事務局） 後日、郵送で資料をお渡しする。

（委員） 不法投棄の撤去量・撤去費用は減っているが、不法投棄自体が減っているのかの分析もお願いしたい。回答は不要。

（議長） 他に質疑はあるか。

（委員） 前回の審議会では話をした不法投棄の現場確認は。

- (事務局) 川沿いのところは現場確認を行ったが、民地だと土地所有者の対応になってくる。釣り堀の方も現場確認を行う。
- (委員) 不法投棄されていると、さらに捨てられてしまう。
- (事務局) その土地も、所有者を確認して対応をしていただくことになるので、調査したい。
- (議長) 他にあるか。
- (委員) こちらに第2次北杜市環境基本計画改訂版があるが、これは前期2年間で審議されたものをまとめたものか。
- (事務局) 全体10年計画となっており、5年目に改訂をしている。2018年に第2次北杜市環境基本計画を策定し、昨年度見直しをした。今年度からの5年間の計画になる。基本的な方針は変えていないが、前期5年間の総括をした。SDGs等、当時無かった考え方を盛り込みながら改訂した。
- (委員) 今後は改訂版に沿ってやっていくということか。
- (事務局) 北杜市がこの計画に則った事業をしていくということになる。基本方針があり、市役所全体の各分野に関わってくるが、年度ごとに評価して公表していくということを行う。
- (議長) 他にあるか。
- (委員) 今回大きく変えた部分はどこか。
- (事務局) まず第2章5ページ、世界情勢の総論になるが、ここでSDGsにページを割き、行政としてもしっかり考えていくということで追加している。次のページは、世界的な気候変動の警鐘が鳴らされているため、最新の情報を掲載している。8ページは循環型社会の形成・推進がこれまで以上に叫ばれているため、環境省の最新の情報を掲載している。9ページは、生物多様性について掲載している。資料編では人口減少や市政状況を新しくしてある。15ページは、甲武信ユネスコエコパークを追加した。以降、データの最新版を掲げている。37ページはアンケート調査を掲載している。アンケートの内容は、5年間に渡る変化を見ることから、第2次北杜市環境基本計画を策定したときと同じ質問を投げかけている。同じような傾向があり、ごみが目立つという御意見もいただいているので、特定をしていきたいと考えている。42ページの市に望むことも、自然環境が一番大切だという御意見が多かった。こういったことを踏まえ、行政が何をしていくのかを考えていくということで、45ページで環境像・スローガンを作った。「自然と共にサステナブルなまちへ 北杜新時代」を標榜し、今後も事業を実施していく。基本方

針について変更はなく、市の事業にこんな風に繋がっているという内容となっている。総合計画ともリンクしており、将来的な目標数値を設定・管理し、そこに向かって事業を進めていく。91ページの環境基本条例も一昨年改定している。改定のポイントとしては、これまで市を訪れる方の責務については謳っていなかったが、来訪者についても北杜市の環境について考えてほしいということで、来訪者の責務を付け加えている。それもあり、今回の計画では市民の責務、事業者の責務、行政の責務、来訪者の責務も加えて、一緒に参画していこうという作りになっている。

(議長) 丁寧な説明をありがとうございました。

(委員) 短い期間の中で、素晴らしいものが出来ている。事務局や前任の審議会の委員の大変な努力に敬意を表す。カーボンニュートラルのことについて質問がある。ゼロという目標は何年までに達成するというのか。

(議長) お手元にある基本計画の73ページにもあり、5～7ページにも繋がっているが、2020年12月に北杜市と北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会が「北杜市ゼロカーボンシティ宣言」をした。それは2050年までに脱炭素ゼロにするということ。

(事務局) 73ページは2020年の宣言となっており、国では2013年度の二酸化炭素排出量から、2030年に向けて26%削減しようとしていた。この宣言の直後に、46%削減ということになった。またさらにその後の閣議決定で、50%以上の高みを目指すという表現をしている。北杜市は事業所としても二酸化炭素削減をしていくため、太陽光発電を設置したりしている。

(議長) 他にあるか。

(委員) 地球温暖化やCO<sub>2</sub>対策やカーボンニュートラルゼロとか、世界的な流れの論調があるので、ある程度それに沿って北杜市としても話を進めていくと思うが、CO<sub>2</sub>の排出は統計の取り方で大きく変わってしまうという部分もある。北杜市としてはどんな実態となっているのかももう少しクローズアップして、施策に生かせるのであれば、北杜市としてのデータを審議会の中で示してもらいたい。

(事務局) 環境省のホームページで公表されている「自治体排出量カルテ」のデータを集めてお知らせしたい。

(議長) 議題(2)に入ってしまったが、議題(1)について他にあるか。  
無いようなので、議題(2)ゼロカーボン推進担当の状況について、事務局より説明を求める。

(事務局) ゼロカーボン推進担当の状況について説明。

- (議長) この件について質疑等があれば挙手をお願いします。
- (委員) 里山整備事業は林政課でやっていた事業のことか。
- (事務局) 里山整備事業は林政課主体の事業である。
- (議長) 他にあるか。
- (委員) 2点質問がある。木質ペレットストーブに補助を出しているが、薪兼用ストーブを対象外としている理由は。もう1点、地下水の保全事業というのはどのような内容か知りたい。
- (事務局) 木質ペレットストーブについては、ペレット自体が木の再生利用という形で活用している。物の再生利用ということで、ペレットストーブのみを対象としている。地下水の保全事業については、様々な企業が地下水を汲みすぎると水位の低下や水質の悪化が懸念されるため、きちんと管理・調査していく事業を白州総合支所を中心として行っている。
- (委員) 調査的なことをしているということか。
- (事務局) 調査が主になる。問題が無いということや水位が保たれていることを調査している。
- (議長) 他にあるか。
- (委員) 里山整備事業は林政課がやっていることと連携しているのか、それとも環境課へ引き継いだのか、全く別の事業なのか。もう1点、先程大きな木についてはCO<sub>2</sub>吸収が少なくなっているのが自主転換という話があり、一般的にそのようなことが言われるが、林業的に常に拡大生産をしたり、サイクル生産をしている部分において収穫した樹木を建材として使うことを前提に考えたときに、大きくなった木を苗木に植え替えるという場面においては若い木の方がCO<sub>2</sub>吸収に貢献するということが成り立つが、ただ大きい木を小さい木に植え替えればCO<sub>2</sub>が減るということにはならない。これについては回答不要。里山整備事業については回答を求める。
- (議長) 事務局、説明を。
- (事務局) 環境保全基金については、こちらが事務局を持っており主体は林政課となる。環境課では入ってきた補助金を、事業を実施する各課に配分をするという形になる。環境保全協力金として入ったお金を、環境課が事務局として各課に配分をしている。  
先程の件で、適度に間伐をして里山整備をしていく中で、育ちの悪いような木を若い元気な木に変えていくということ。大きな木を無秩序に切るという訳ではなく、きちんと里山整備、いわゆる間伐をしながら樹種転換を行って

いくという理解でお願いしたい。

- (委員) ある程度、科学的に数字にする中で施策を推進していただきたい。例えば、森林を開発して太陽光パネルを並べたときに、失われたものと太陽光パネルでCO<sub>2</sub>吸収源になっているものの比較対象、果たしてどちらがプラスなのかマイナスなのかというデータはなかなか出てこない。森林を太陽光パネルに並べ替えるのが果たしてプラスなのかどうかということについては議論を要すると考えている。本当に意義のあることなのか、現場主義、北杜市主義で見極めてほしい。
- (議長) 貴重な御意見ありがとうございました。他にあるか。
- (委員) ゼロカーボンシティ宣言にクリーンエネルギー推進協議会の会長名が載っているが、この方は北杜市環境事業協同組合の組合長をしている。この組合で車が何十台あり、排気ガスを出していることについて調査したことはあるか。
- (議長) 難しい問題であるが、その方の会社はISO 14001を取得している。
- (委員) この組合が北杜市のごみ収集を行っているが、その中に何十年と経った車や県外で使えなくなった車で運搬している業者がある。会長名として名前を載せているのなら、組合も綺麗にしておいた方がいい。
- (事務局) 企業努力の部分もあるが、御意見をお伝えさせていただきます。
- (議長) 他にあるか。
- (委員) 北杜市の太陽光発電施設について、復旧工事はどのくらい費用が掛かっているのか。
- (事務局) 7千万円強の被害を受けたが、このうちの2割弱くらいが保険適用になる見込み。犯人が逮捕された場合請求することはできるが、犯人に支払い能力が無い可能性もある。市としては弁護士とも相談しながら、できる限りの対応を取っていきたい。費用については市の予算は充てておらず、今までの太陽光発電の売り上げの中から復旧経費に充てている。
- (委員) 他にあるか。  
議題(3)その他について事務局何かあるか。  
委員の皆様から何かあるか。
- (委員) 神田の大糸ザクラが衰退している。審議会から意見を言うことはできないか。
- (事務局) ちなみに所有者はどなたか。
- (委員) 所有者については把握していない。

- (議長) 所有者が樹勢回復をしていくことになると思う。文化財であれば支援があるかもしれない。
- (委員) 審議会の委員として個人的に意見を言ってもいいか。
- (事務局) 教育委員会に確認を試みる。
- (議長) 他にあるか。
- (委員) 木質ペレットストーブについて、ペレット自体の国産・輸入の比率が分かるか。
- (事務局) 把握をしていない。町内にある企業や長野県の企業もペレットの生産をしていることは把握している。
- (委員) ストーブ本体ではなく、ペレット材のことを知りたい。
- (事務局) ペレット材のことである。
- (委員) 国内生産量と海外からの輸入の比率が分かれば。
- (事務局) そこまでは把握していない。
- (議長) 他にあるか。  
以上で議事を終了する。

## 8 閉会（三井副会長）

会議終了 午後0時00分

以上、令和5年度第1回北杜市環境審議会の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

署名 \_\_\_\_\_ (印)

署名 \_\_\_\_\_ (印)